

◇森林総合研究所 平成18年度研究成果選集 刊行



平成18年度研究成果選集

ホームページをご覧ください

<http://www.affrc.go.jp/labs/kouho/seika/2006-seika/2006mokuji.htm>

目次

重点分野アア地球温暖化対策に向けた研究

アアa 森林への温暖化影響予測及び二酸化炭素吸収源の評価・活用技術の開発

- ・京都議定書に対応した国家森林資源データベースの開発
- ・永久凍土地帯のカラマツ林生態系における炭素収支の解明
- ・落葉広葉樹林におけるCO₂フラックスを群落多層モデルで再現

アアb 木質バイオマスの変換・利用技術及び地域利用システムの開発

- ・レブリン酸収率の画期的な向上
- ・超・重臨界水処理ベンチプラント製造と木材糖化液のエタノール発酵
- ・木材利用によるCO₂削減効果の評価モデルの開発と日本への適用

重点分野アイ森林と木材による安全・安心・快適な生活環境の創出に向けた研究

アイa 生物多様性保全技術及び野生生物等による被害対策技術の開発

- ・KumaDAS（クマダス）のススメ
- ・「ピンチくん」ゲーム感覚で学ぶ外来種の脅威
- ・サビマダラオホソカタムシを利用したマツノマダラカミキリ防除技術の開発

アイb 水土保全機能の評価及び災害予測・被害軽減技術の開発

- ・林野火災の延焼危険度と早期警戒システムの開発
- ・カンボジア国森林流域における水・森林環境データセットの作成
- ・地震によって山地斜面はどのように動いたか？－中越地震発生時の地すべり変動観測－

アイc 森林の保健・レクリエーション機能等の活用技術の開発

- ・ブナ天然林で森林のセラピー効果を検証
- ・魅力的な森林景観づくりへむけたガイドブック
- ・里山の森林動物と共存していくために

アイd 安全で快適な住環境の創出に向けた木質資源利用技術の開発

- ・地域材を用いた新築材の開発とJAS規格への提案
- ・木質建材工場から出る大気汚染物質を減らす

重点分野アウ社会情勢変化に対応した新たな林業・木材利用に関する研究

アウa 林業の活力向上に向けた新たな生産技術の開発

- ・森林所有権の移動の実態と影響が明らかになる
- ・簡易レーンによる新たな森林資源収穫システムを開発！
- ・タケの地上部現存量を簡易に推定する
- ・森林・林業・木材産業の将来を見通す

アウb 消費動向に対応したスギ材等林産物の高度利用技術の開発

- ・火災に強い集成材をつくる
- ・消費者に好まれる乾しいたけの栽培技術の開発

重点分野イア新素材開発に向けた森林生物資源の機能解明

イアa 森林生物の生命現象の解明

- ・ボブラ完全長cDNA約20,000種類の収集に成功
- ・スギ花粉から多数のアレルゲン類似遺伝子を発見

イアb 木質系資源の機能及び特性の解明

- ・市販木竹酢液中に含まれるホルムアルデヒド含有量の実態解明

重点分野イイ森林生態系の構造と機能の解明

イイa 森林生態系における物質動態の解明

- ・森林土壌の乾燥と水の通り道
- ・大気からの窒素負荷の進行とスギ林への影響
- ・谷頭斜面の流出特性－「あめふりくまのこ」は何を見たか？－

イイb 森林生態系における生物群集の動態の解明

- ・被食防御物質タンニンに富むトングリをアカネズミが利用できるわけ

◇平成19年度多摩森林科学園森林講座のお知らせ

11月9日（金）

日本の風景 クロマツ海岸林－自然の脅威に備えて－

クロマツ海岸林は、海岸の厳しい環境を和らげるために年月をかけて作り上げてきたものです。その歴史と役割、課題について解説します。

（講師：板本知己 気象環境研究領域気象害・防災林研究室長）



開講時間は13：15～15：00です。

受講料は無料ですが、入園料として、大人300円、子供50円（小～高校生）が必要です。

お申し込み方法

往復はがきに、1）受講したい講座名、2）住所、3）氏名、4）年齢、5）職業、6）電話番号をお書きの上、下記宛先へお申し込みください。申し込みの締切りは、講座日の2週間前までです。

申込先・問い合わせ先

〒193-0843 東京都八王子市甘里町1833-81
多摩森林科学園 TEL：042-661-0200

交通

JR中央線・京王線高尾駅北口から徒歩約10分。
駐車場がありませんので、お車でのご来園はご遠慮ください。

